

✧ 海外ニュース ✧

イタリア 2016年5月24日 ANAS

■ ANAS 取締役会が 2015 年度統合決算報告書および 2016 年～ 2020 年中期事業計画を承認

Anas : CdA approva il Progetto di Bilancio Integrato 2015 e il Piano industriale 2016-2020

純益 1,670 万ユーロ，生産高 17 億ユーロ，実施入札総額 11 億ユーロ，投資計画総額 200 億ユーロ（対象区間 3,600 km）。ジャンニ・ヴィットリオ・アルマーニ CEO のもと，本日開催された ANAS 取締役会で，同社の 2015 年 12 月 31 日付統合決算報告書が承認された。2015 年度の純益は 1,670 万ユーロと，イタリアの道路運営業者のなかでも業績のよい企業のひとつとなっている。

フランス 2016年5月31日 Vinci

■ 「欧州持続可能な開発週間」：ヴァンシ高速道路会社の取組み

Semaine européenne du développement durable : Vinci autoroutes s'engage

「2016 年度 欧州持続可能な開発週間」を機にヴァンシ高速道路会社は 2014 年から 17 年にかけて実施する持続可能な開発に向けた当社の取組みをまとめた。持続可能なモビリティの分野では，高速道路での相乗り（ライドシェア）を発展させることでシェア型の移動手段の発展に寄与している。例えば当社が相乗りマッチングサイト運営会社であるブラブラカーと協力して導入した特別なテレペーアージュ（ETC）プランには，3 万人が加入している。また当社が管理する高速道路には相乗り専用駐車場が 22 カ所あり，1,700 台分のスペースが確保されている。

ドイツ 2016年6月2日 Zeit オンライン版

■ 交通政策：アウトバーン株式会社設立へ！

Verkehrspolitik : Auf zur Autobahn AG!

ここ数十年で最大規模の交通改革を実施するために，基本法が改正される予定である。民営化の懸念があるのか？目下，関係各省がそれぞれに独自の基本法改正案を策定中である。最終的に妥協案を模索するのは，おそらくショイブレ連邦財務相と諸州の首相たちになるであろう。彼らの主たる関心領域は交通政治ではないが，このような政治家達がここ数十年で最大規模の交通改革の概要を決定することになってしまうかもしれない。

フランス 2016年6月7日 APRR

■ ハイブリッド車のために完璧なサービスを

Services complets pour véhicules hybrides

パリ・ライン・ローヌ高速道路会社（APRR）とローヌ・アルプ高速道路会社（AREA）は，電気自動車用急速充電器を 80 km ごとに整備し，EV での長距離移動を可能にした。また，高速道路の新たな利用法も提案している。APRR と AREA は電気モビリティ推進の担い手として，EV のドライバー向けに専用の特典がついたテレペーアージュ（ETC）プラン，「エレクトリシ=テ」を開発。このプランに入れば，サービス加入料と月々の管理費が 24 カ月間無料になるほか，テレペーアージュならではの種々の特典（ノンストップテレペーアージュ，月ごとの一括支払い，詳細な利用明細書，オンラインアカウントなど）が受けられる。

フランス 2016年6月8日 APRR

■ 大々的な工事には大々的な対応策を

Aux grands travaux les grands remèdes

春夏の行楽シーズンを間近に控え，工事により発生する不都合を軽減するため，パリ・ライン・ローヌ高速道

路会社（APRR）グループでは工事を行う際は、交通量の少ない時期を選び、作業時間帯を調整し、さらにその時間を最短に抑える努力を払っている。また、ドライバーに対する情報提供システムを強化し、計画的な移動を可能にしている。

フランス 2016年6月8日 APRR

■ 座って、くつろぎ……運転しよう

Asseyez-vous, détendez-vous... et roulez

自動車部品の開発・製造を専門とするフランスのフォルシア・グループが、ドライバーのストレスと疲労をチェックする画期的なカーシート、「アクティブ・ウェルネス」を開発した。疲労とストレスの状態はドライバーの心拍数と呼吸数を測定することで可能になる。アメリカで開発された病院用ベッドのセンサーをヒントにして開発されたこの新世代カーシートは、道路の振動の影響を受けないよう設計されており、収集データの信頼性が保たれている。アクティブ・ウェルネスの主要目的は単純かつ野心的で、ドライバーのストレスと疲労をチェックし、各人の状態にふさわしい処置をやさしく施すことにある。つまり、ドライバーにくつろぎのひとつときや、必要な活力を与えるのだ。具体的には車の中央制御装置と接続している、この新世代カーシートがマッサージを施すほか、シート自体が温まったり、さらには内蔵通風システムを通じて冷たくなったりする。

スペイン 2016年6月9日 Cinco Días オンライン版

■ ビップ&ドライブ社、遠隔料金システムをフランスへ拡大

Bip&Drive extiende el sistema de telepeaje a Francia

遠隔料金システムを手がけるビップ&ドライブ社は、フランスのビップ&ゴー社と提携し、スペイン、フランス、ポルトガルの全有料自動車道路で使用可能なヨーロッパ市場初となる装置を売り出すことになった。このようにしてアベルティス、カイシャバンク、シントラ、イティネレが参加するスペインの新規事業体は、遠隔料金システムを通してイベリア半島とフランスの顧客の移動を容易にし、「最大限の安全性を提供する」ことを目的に、同社と協力する契約に合意した。

フランス 2016年6月13日 Bip&Go

■ ビップ&ゴー社、フランス全土のみならずスペイン全土でも利用可能なテレペアージュを発売

Bip&Go, le télépeage partout en France, et aussi partout en Espagne

2016年6月13日に発売されたビップ&ゴー社の新しいテレペアージュ（ETC）車載器があれば、フランスとスペインの高速道路を通行するにあたり、今後は車載器2台を併用しなくてすむようになる。つまり一種類のテレペアージュに加入するだけで、両国の高速道路でテレペアージュが使えるようになるのだ。

ドイツ 2016年6月15日 Sueddeutsche Zeitung オンライン版

■ 将来アウトバーンを運営するのは、アリアンツやアクサといった保険会社になるのか？

Gute Fahrt wünschen Allianz und Axa

改正後の基本法の文言はあらゆる形での民営化に門戸を開くことになるだろう。そのひとつが機能的民営化で、民間資本があらゆる形態をとってアウトバーンの建設・運営に出資することが可能になる。さらに、この改正が物質的民営化につながる。つまり国家が部分的、あるいは完全に撤退する可能性も考えられる。かつて自治体は生存権に関わる公共サービスの民営化を推進していたが、今回のアウトバーン民営化計画が持ち上がった頃には、自治体はすでに方向を再転換していた。

ドイツ 2016年6月15日 Verkehrs Rundschau オンライン版

■ バイエルン州、トラック点検所を州全域に常設する計画

Bayern will landesweit feste Lkw-Kontrollstellen an Autobahnen

トラックが関与した重大事故の発生件数が増大していることから、バイエルン州はその対処として常設のトラック点検所を州全域に設置する方針を決めた。水曜日、アウトバーン8号線アウグスブルク近郊で可搬式点検所を訪問したヨアヒム・ヘルマン交通相（キリスト教社会同盟/CSU）は、今後はミュンヘンのみならずバイエルン州内の全警察署が、最低一基のトラック点検所を保有することを定めると発表した。

スペイン 2016年6月16日 Cinco Días オンライン版

■ イタリアでの大型契約でサシルの資産が急増へ

Sacyr disparará su cartera con un macrocontrato en Italia

マヌエル・マンリケ率いるサシル社が、イタリアでの存在感を高めている。契約が締結されれば、有料自動車道路の運営で今後50年間に126億ユーロの収入が約束される。当該のプロジェクトはローマ～ラティナ間の複合輸送高速道路186kmである。

フランス 2016年6月17日 Goodplanet

■ イル＝ド＝フランス地方の46kmの道路で時速20kmの減速措置を実施

La vitesse va baisser de 20 km/h sur 46 km de routes en Ile-de-France

7月4日より、1日に40万台近くが通行する国道および高速道路の4区間にて、走行速度を時速20km低下させる措置が実施される。日刊紙「パリジャン」によれば、この措置の目的は対象地域の渋滞、騒音、大気汚染を低減することだ。

ドイツ 2016年6月17日 Sueddeutsche Zeitung オンライン版

■ 速度違反監視カメラ：「さあ、写真を撮影しますよ！」

Blitzer : Bitte recht freundlich

「ドイツの公道では、速度違反監視カメラが1年に300万回作動する。道路交通をより安全なものにするためには、違反取締装置の活用法を変える必要がある」とドイツ連邦交通心理士連盟（BNV）のカール＝フリードリヒ・フォス理事は述べる。今以上に可搬式装置の利用に力を入れ、また夜間や週末など運転初心者が数多く走行している時間帯に取締りを行わなければならないという考えを示す。そのようにするとドライバーは、速度違反監視カメラが設置されている地点にさしかかる時だけスピードを落とすのではなく、常時注意を払わなければならない。その結果「監視されているプレッシャー」が大幅に強められるというのである。

ドイツ 2016年6月17日 Verkehrs Rundschau オンライン版

■ アンケート：自律走行による安全性の向上を期待

Umfrage : Mehr Sicherheit durch selbstfahrende Fahrzeuge erwartet

「未来の道路交通の安全性は、自律走行によって向上する」。市場調査会社TNS Emnidがこのほど実施したアンケートによれば、ドイツの住人の41%がこのような期待を抱いているという。この調査結果に基づけば、公道を走る車両がコンピュータによって制御されるようになることに、とりわけ大きな信頼を寄せているのは男性である（52%）。このアンケートはドイツ連邦デジタル経済連盟（BVDW）の依頼によって実施されたものだが、その結果に従えば自動走行車を受け容れる姿勢が広まっていることになる。アンケート回答者の53%が安全性が実証され次第、そのような車両を購入すると答えている。